

## 全国精神衛生相談業務研修会開催状況

回数	第1回	第2回
開催期日	昭和57年7月10日(土)～11日(日)	平成58年2月26日(土)～27日(日)
会場	東京都港区 全特会館	東京都港区 全特会館
研修テーマ	全国精神衛生相談員会 結成大会 (主催：設立準備委員会)	「保健所精神衛生業務の確立をめざして」
記念講演	<1日目>9:30～17:30 受付 主催者挨拶 経過報告	<1日目>9:30～16:30 受付 主催者挨拶
プログラム	来賓祝辞 厚生省精神衛生課 今田 寛睦 東京都衛生局 服部 大明 日本PSW協会 柏木 昭 全国精神障害者家族会連合会 滝沢武久	◎実践・研究報告 ①「保健所精神衛生業務のタイムスタディ 大阪府松原保健所 長沼 均 大阪府泉大津保健所 水島 栄子 司会 川崎市衛生局保健指導課 菅野 望
内容	◎記念講演 「精神衛生相談員に期待するもの」 大阪府衛生部公衆衛生課長 矢内 純吉	②「保健所精神衛生相談初期処遇のフローチャート化」 千葉県精神衛生相談員会第三部会 千葉県精神衛生センター 玉木 実砂
来賓等	◎結成総会 ◎各地の精神衛生活動の現状と課題(Ⅰ) ①新潟県衛生部公衆衛生課 山口 哲雄 ②横浜市港南保健所 池田 路子 ③東京都町田保健所 山中 房子 ④愛知県刈谷保健所 藤村 恵子 ◎懇親会 17:30～19:30	◎精神衛生鑑定業務の実際 ①精神衛生鑑定業務全国調査報告 東京都立精神衛生センター梅ヶ丘分室 川澄 直子 ②精神衛生鑑定業務の実際 東京都立精神衛生センター 林 幸男 千葉県木更津保健所 星 哲夫
	<2日目>9:00～12:00 ◎各地の精神衛生活動の現状と課題(Ⅱ) ①大阪府吹田保健所千里支所 殿村 寿敏 ②神戸市北保健所 美藤 早苗	◎シンポジウム 「精神衛生鑑定業務の実際と課題」 発言者 新潟県三条保健所 塚田 三保子 大阪府吹田保健所千里支所 殿村 寿敏 川崎市田島保健所 椎名 和郎 神奈川県衛生部保健予防課 角田 英昭 助言者 同和会千葉病院長 仙波 恒雄 司会 神奈川県相模原保健所 助川 征雄 横浜市鶴見保健所 川合 丈夫
	◎シンポジウム 「精神衛生相談員会を発足させることの意義と今後の課題」 司会 神奈川県鎌倉保健所 岩崎 七四六 助言者 日本社会事業大学教授 小松源助 発言者 ①神奈川県相模原保健所 助川 征雄 「保健所の立場から」 ②千葉県精神衛生センター 佐々木 光昭 「精神衛生センターの立場から」 ③川崎市衛生局保健指導課 「主管課の立場から」	◎シンポジウム 「精神衛生鑑定業務の実際と課題」 助言者 同和会千葉病院長 仙波 恒雄 司会 神奈川県相模原保健所 助川 征雄 横浜市鶴見保健所 川合 丈夫
	◎祝電 ①厚生省医務局長 大谷 藤郎 ②日本精神科看護技術協会会長 伊東 フヂエ ③日本精神病院協会千葉県支部長 柴田 耕三 ④同和会千葉病院医局 ⑤千葉県保健所長会長 今野 邦雄 ⑥千葉県保健所予防課長会長 鈴木 謹爾 ⑦千葉県職員検査技師会長 宇野沢 高春	◎自由集会 「精神衛生業務検討を今後どう進めるか」 <2日目>9:30～12:00 ◎意見交換会 「精神衛生実態調査について」 話題提供 川崎市精神衛生相談センター 天野 宗和 厚生省精神衛生課長補佐 今田 寛睦 全家連事務局長 滝沢 武久 司会 大阪府精神衛生相談所 真野元四郎 神奈川県衛生部保健予防課 角田 英昭 全体討議
参加者数	参加者数不明(昭和57年10月現在会員数252名)	名
備考		

## 全国精神衛生相談業務研修会開催状況

回数	第3回	第4回
開催期日	昭和58年7月23日(土)～24日(日)	昭和59年3月2日(金)～3日(土)
会場	東京都中央区 東京都勤労福祉会館	横浜市神奈川区 神奈川県社会福祉会館
研修テーマ	「精神障害者のコミュニティケアにおける保健所社会復帰活動のあり方」	「保健所精神衛生業務の確立をめざして」
記念講演	◎パネルディスカッション 「精神障害者のコミュニティケアにおける保健所社会復帰活動のあり方」 ＜パネラー＞ 国立精神衛生研究所 医師 岡上 和雄 やどかりの里 ワーカー 谷中 輝雄 新潟県十日町保健所 相談員 五井 荘二	◎調査研究・実践報告 ①精神衛生鑑定業務全国調査結果の分析と評価 千葉県木更津保健所 田中 康雄 ②私の精神衛生鑑定業務へのかかわり方 大分県竹田保健所庶務係長 阿南 義弘 神奈川県茅ヶ崎保健所相談員 高木 秀 横浜市中保健所相談員 勝沢 昭
プログラム	＜指定発言＞ 元・千葉県船橋保健所予防課長 桜井 好美 神奈川県立精神衛生センター 伊東 秀幸	助言者 東京都立精神衛生センター 吉田 勇
内容	＜司会＞ 神奈川県平塚保健所 三代 浩肆 大阪府精神衛生センター 真野元四郎	司会 千葉県松戸保健所 高田 征四郎 ③グループ討議 ④全体討議
来賓等	◎実践報告 「地域における援助活動の試み」 ①山口県宇部保健所 永本 隆 ②静岡県精神衛生センター 野田 和男	＜2日目＞ ◎パネルディスカッション 「保健所精神衛生業務を進めていく上での精神衛生相談員の役割」
	＜司会＞ 神奈川県衛生部保健予防課 角田 英昭 横浜市中保健所 川合 丈夫	パネラー 川崎市麻生保健所相談員 坂庭 章二 神奈川県茅ヶ崎保健所保健婦 杉澤 素子 横浜市旭保健所保健所長 溝口 千里
	来賓 ①厚生省医務局長 大谷 藤朗 ②厚生省精神衛生課課長補佐 今田 寛睦	助言者 国立精神衛生研究所 宗像 恒次 司会 千葉県習志野保健所 松元 信子
		来賓 ①神奈川県衛生部保健予防課長 山本 頼祇 ②国立精神衛生研究所社会復帰相談部長 岡上 和雄
参加者数	名	名
備考		

## 全国精神衛生相談業務研修会開催状況

回数	第5回	第6回
開催期日	昭和59年7月27日(金)～28日(土)	昭和60年2月15日(金)～16日(土)
会場	横浜市西区 神奈川婦人会館	東京都清瀬市 日本社会事業大学
研修テーマ	「精神衛生行政の確立をめざして －主管課、保健所、精神衛生センターの連携と役割－」	「精神衛生行政の確立をめざして －保護義務制度の現状と問題点－」
記念講演	◎グループ討議	◎来賓祝辞
プログラム	◎パネルディスカッション 「精神衛生行政の確立をめざして －主管課、保健所、精神衛生センターの連携と役割」	国立精神衛生研究所社会復帰相談部長 岡上 和雄
内容	<パネラー> 千葉県衛生部保健予防課 永田 修巳 神奈川県相模原保健所 山口 勝 東京都立精神衛生センター 手塚 一郎	◎基調講演 「精神衛生法における保護義務者制度の基本と考え方」 講師 東京都立墨東病院神経科部長 西山 詮
来賓等	<助言者> 埼玉県精神衛生センター所長 渡嘉敷 暁 <司会> 千葉県習志野保健所 松元 信子	◎報告と討論「保護義務者制度の現状と問題点」 <司会> 大阪府精神衛生相談所 真野 元四郎
	<2日目>	「家族の立場から」 全家連社会福祉問題研究会委員 乾 三郎 「市町村長保護義務者を実践する立場から」 大阪府堺市鳳保健所 小出 保廣 「病院ケースワーカーの立場から」 桜ヶ丘保養院 長谷川 増典 「政令市主管課の立場から」 名古屋市衛生局保健予防課 松永 均
	◎全体討議 第1日目のグループ討議とパネルディスカッションで話し合われたことを全体で討議	◎事務連絡・その他
	◎講演 「保健所の老人精神衛生相談をどう進めるか」 講師 厚生省保健医療局精神保健課課長補佐 上田 茂	◎意見交換会「精神衛生鑑定業務・保護義務者の問題等について」
	◎老人精神衛生相談事業の状況 「神奈川県の老人精神衛生相談事業」 神奈川県衛生部保健予防課 三代 浩肆 「横浜市の老人精神衛生相談事業」 横浜市衛生局保健指導課 荒木 明美	精神衛生鑑定業務、業務要項、保護義務者問題を 中心に自由な意見交換を行う <司会> 千葉県松戸保健所 高田 征四郎
	◎意見交換 質問を含め、上田先生と話し合い	神奈川県衛生部保健予防課 三代 浩肆 大阪府精神衛生相談所 真野 元四郎 神奈川県中央児童相談所 角田 英昭
	来賓祝辞	<助言者> 厚生省保健医療局精神保健課課長補佐 西山 正徳
	①医療金融公庫、元厚生省医務局長 大谷 藤郎	
	②神奈川県立精神衛生センター所長 石原 幸夫	
	③国立精神衛生研究所 岡上 和雄	
参加者数	名	名
備考		

## 全国精神衛生相談業務研修会開催状況

回数	第7回	第8回
開催期日	昭和60年7月26日(金)～27日(土)	昭和61年2月21日(金)～22日(土)
会場	新潟市 新潟厚生年金会館	大阪市 大阪市教育青年センターホール 山西服記念会館ホール
研修テーマ	「地域精神衛生活動における集団援助活動の意義とすすめ方」	『精神衛生20年の歩みーその過去、現在、未来、をどうとらえるかー』
記念講演	昭和60年度総会	◎特別講演 「精神衛生今昔ー昭和40年精神衛生法改正事情と保健所精神衛生業務を軸にして」 元厚生省医務局長 大谷 藤郎
プログラム	映画上映「カナダの地域精神医療」 「カナダの救急精神医療」 企画 全国精神障害者家族連合会 製作 円城寺プロダクション 主催者あいさつ 会長 三代浩肆	◎講演 ①昭和60年代の保健所精神衛生業務の展望ー精神衛生施策過去20年の歩みをふまえてー 厚生省精神保健課長補佐 福原 毅文 ②地域精神衛生活動に果たした精神衛生センターの役割とその将来ー精神衛生センター20年の歩みをとおしてー 千葉県精神衛生センター 若菜 坦 ③保健所精神衛生業務20年の歩みー現場実践をとおして今後の課題ー 大阪府松原保健所主査 石神 文子 ④精神障害者の処遇をめぐるー精神衛生法改正に伴う保健所精神衛生業務20年の中で何がどのように変化したかー 国立精神衛生研究所社会復帰相談部長 岡上 和雄
内容	◎講演 「地域における社会復帰援助のネットワーク」 蜂矢 英彦	◎フォーラム 1. 保健所長の見て来た精神衛生相談員ー保健所精神衛生業務への取り組みを見つめながらー ○保健所精神衛生業務の回顧ー精神衛生相談員との係わりを中心にしてー 神奈川県鎌倉保健所長 藤井 信雄 ○精神衛生相談事業の20年を顧みてー精神衛生相談員と私ー 大阪府松原保健所長 久池井 暢 ○保健所長の見てきた精神衛生相談員ー保健所精神衛生業務への取り組みを見つめながらー 兵庫県尼崎市北保健所長 山本 繁
来賓等	◎実践報告 (1) 保健所グループワークの意義と課題 神奈川県精神衛生センター 助川 征雄 (2) 地域精神衛生活動と保健所の連携 新潟県長岡保健所 野口 晃  2日目 ◎グループ討議 「地域精神衛生活動における集団援助活動の意義とすすめ方」  来賓 厚生省保健医療局精神保健課長補佐 西山 正徳 新潟県環境保健部長 服部 坦 国立精神衛生研究所社会復帰相談部長 岡上 和雄	◎講演 ○精神衛生行政20年を問うー何を目指し、何を試み、何ができたかー 大阪府衛生部地域保健課参事 矢内 純吉 ○精神衛生センターと保健所との連携ー相互に期待するものを求めてー 愛知県精神衛生センター 伊藤 克彦 ○精神衛生センターに期待するもの 大阪府富田林保健所 河内長野支所 山田 一郎 ○精神衛生センターと保健所との連携 東京都立中部総合精神衛生センター 田村 操 ○精神衛生センターと保健所との連携 新潟県巻保健所保健課主任 野淵 智佳子 ◎指定演題発表 保健所精神衛生業務と精神衛生相談員の業務とは 香川県高松保健所主査 芝 明義
参加者数	152名	351名
備考		

## 全国精神保健福祉業務研修会開催状況

回数	第9回	第10回
開催期日	昭和61年7月3日(木)～4日(金)	昭和62年2月6日(金)～7日(土)
会場	東京都立中部総合精神衛生センター	第1日 名古屋通信会館 第2日 名古屋市総合福祉会館
研修テーマ		「地域のネットワークづくり」
記念講演	第1日 ◎調査研究事業について 1 地域における精神障害者のサポートシステムの改善に関する研究 ※神奈川県立精神衛生センター 助川 征雄 横浜市衛生局保健部保健指導課 荒木 明美 神奈川県立精神衛生センター 伊東 秀幸 東京都立中部総合精神衛生センター 尾上 孝文 千葉県精神衛生センター 金子大志郎 川崎市社会復帰医療センター 菅野 望 川崎市麻生保健所 坂庭 章二 東京都立精神衛生センター 三枝美樹夫 横浜市瀬谷保健所 高野 静子 神奈川県衛生部保健予防課 三代 浩肆	第1日 1 来賓祝辞 愛知県衛生部 技監 小澤 和郎 名古屋市保健所長会 会長 富田 禎子 愛知県総合保健センター 部長 伊藤 克彦 2 講演「地域ネットワークづくりについて」 石川県厚生部長兼精神衛生センター長 今田 寛睦 3 研究報告「精神衛生法改正を考える」 ○地域における精神障害者のサポートシステムの改善に関する研究 <分担研究者> 三代浩肆(神奈川県立精神衛生センター) <調査研究員> 田中康雄(千葉県木更津保健所) 金子大志郎(千葉県精神衛生センター) 林幸男(東京都立総合精神衛生センター) 尾上孝文(東京都立総合精神衛生センター) 三枝美樹夫(東京都立精神衛生センター) 日吉淳治(東京都松沢病院) 山田憲治(川崎市衛生局保健部保健指導課) ※菅野望(川崎市社会復帰医療センター) 坂庭章二(川崎市麻生保健所) 荒木明美(横浜市衛生局保健部保健指導課) 勝沢昭(横浜市衛生局保健部保健指導課) 高野静子(横浜市瀬谷保健所) 角田英昭(神奈川県中央児童相談所) 伊東秀幸(神奈川県立精神衛生センター) 助川征雄(神奈川県立精神衛生センター)
プログラム	2 同意入院制度のあり方に関する研究 横浜市衛生局保健部保健指導課 勝沢 昭 千葉県木更津保健所 田中 康雄 ※神奈川県中央児童相談所 角田 英昭 東京都立中部総合精神衛生センター 林 幸男 千葉県衛生部保健予防課 堀田 勝治 千葉県佐倉保健所 星 哲夫 川崎市衛生局保健部保健指導課 山田 憲治	
内容	◎講演 精神衛生法の問題と課題 上智大学教授 町野 朔 ◎実践報告 地域精神衛生活動の原点を求めてー沖縄の保健婦と相談員の活動からー 報告 石川保健所 保健婦 上地アキ子 那覇保健所 相談員 仲本 政幸 司会 東京都立中部精神衛生センター 手塚 一朗	
来賓等	来賓祝辞 厚生省保健医療局精神保健課長 林 幸男 東京都衛生局 技監 窪田 英夫 東京都立中部総合精神衛生センター 所長 蜂矢 英彦 日本社会事業大学教授 小松源助	第2日 ◎分科会報告 第1分科会「作業づくりと我々の役割」(参加者19名) 竹山静子(横浜市南保健所) 柳田充啓(奈良県桜井保健所) 第2分科会「家族会活動と我々の役割」(参加者15名) 池田文子(新潟県糸魚川保健所) 岡本亘弘(名古屋市南保健所) 第3分科会「地域精神衛生活動と保健所デイケアの役割」(参加者35名) 坂平貴美子(愛知県一宮保健所) 奥村敦毅(静岡市中央保健所) 第4分科会「『働く』ということ」(参加者24名) 野間恵子(大阪府茨木保健所) 米田正代(大阪府池田保健所) 本田英夫(名古屋市瑞穂保健所) 第5分科会「生活を支えるネットワーク」(参加者32名) 宮本めぐみ(東京都立中部総合精神衛生センター) 若山益美(名古屋市中保健所) 全体集会
	第2日 ◎シンポジウム 司会 外口玉子(東京都精神医学総合研究所), 見浦康文(東京都立中部総合精神衛生センター) 「東京における地域精神保健活動をめぐってー保健婦が精神保健活動を担う意味 保健婦と相談員の役割 保健婦と相談員が望むものは 忙し過ぎる保健婦にとって、地域精神保健活動とはー」 シンポジスト 藤野邦夫(東京都立精神衛生センター), 加藤欣子(江東区深川保健所), 柏木由美子(東京都府中保健所), 遠藤悦夫(品川区荏原保健所) 指定発言者 丸山ハツミ(杉並区西保健所), 小林幸枝(板橋区志村保健所), 最上キクエ(東京都精神医学総合研究所), 石川安息(石川医院), 佐野光正(東京都立中部精神衛生センター)	
参加者数	名	名
備考		後援 愛知県衛生部 名古屋市衛生局

**全国精神保健福祉業務研修会開催状況**

回数	第11回	第12回
開催期日	昭和62年7月2日(木)～3日(金)	昭和63年2月4日(木)～5日(金)
会場	千葉厚生年金休暇センター	ホテルニュー京都
研修テーマ	「法改正の動きをふまえて「これからの保健所精神衛生活動はどうあるべきか」	「地域精神保健活動のこれからを考える」
記念講演	第1日 ◎実践報告	第1日 ◎記念講演
プログラム	その1「精神衛生業務の行政内理解促進をめざして」 千葉県松戸保健所 高田 征四郎	「この30年の精神科医療の変遷と展望」 —私の精神科医としての歩みから— 国立精神・神経センター精神保健研究所長 藤縄 昭
内容	その2「地域での痴呆老人への取り組み」 神奈川県茅ヶ崎保健所 須田 美代子	◎講演Ⅰ「京都府のアルコール地域対策」 京都府立精神衛生総合センター所長 谷 直介
来賓等	◎シンポジウム 基調講演 「これからの保健所精神衛生はどうあるべきか」 東京都立中部総合精神衛生センター所長 蜂矢 英彦	◎実践報告 「ソーシャルサポートシステムについて」 その1 京都府綾部保健所 杉原 努 その2 神戸市中央保健所 森井 俊次 その3 大阪府寝屋川保健所 岡村 正幸 その4 横浜市瀬谷保健所 高野 静子 司会 大阪府吹田保健所 岩田 泰夫
	「法改正を踏まえて保健所の精神衛生活動を考える」 千葉県精神衛生センター長 若菜 坦	第2日 ◎講演Ⅱ「生活理解と福祉援助」 東京都立大学 教授 窪田 暁子
	「これからの保健所精神衛生活動はどうあるべきか」 東京都八王子保健所長 吉岡 毅	◎講演Ⅲ「新たな地域サポートシステムの構築」 —保健と福祉の合体と連携— 大阪府保健福祉医療監 矢内 純吉
	「精神障害者のコミュニティワークを中心とする提言」 大阪府吹田保健所 岩田 泰夫	<来賓> 厚生省保健医療局精神保健課 中村 圭一(精神保健専門官)
	第2日 全体討議 「シンポジウム、実践報告を受けさらに深めるために」 助言者 東京都立中部総合精神衛生センター 蜂矢 英彦	京都府衛生部長 赤坂 裕三 京都府保健所長会会長 岸田 英夫(京都府宇治保健所長)
	国立精神・神経センター精神保健研究所 精神保健計画部長 岡上 和雄	京都市衛生局長 本郷 美弥 京都市保健所長会会長 平野 寿重(京都市中京保健所長)
	問題提起その1 千葉県柏保健所 岩崎 真一 問題提起その2 練馬区石神井保健所 南サワヨ	
	討論	
	講演 「短期入院方式と保健所精神衛生活動の課題」 千葉県精神科医療センター長 計見 一雄	
参加者数	名	名
備考	後援 千葉県衛生部	